

棚田の修理

毎年、冬の時期には棚田の石垣を補修しています。100-150年前に先祖が積上げた石垣ですが、風雪には耐え切れず崩れます。一枚の棚田ですが、延べ2週程度かけ「石垣の補修」と「敷きの補強」を行ないました。



餅米用の棚田です。上手の石垣で、上側の1/3(白い部分)程度積み直し。

同じ棚田の中間の石垣で上側2/3(白い部分)程度積み直し。



石垣補修の後は棚田畦水位のレベルを水系と水準器で確認。

補修した石垣の畦側です。水系で水準を見ながら「敷き」まで掘り下げます。



「敷き」を粘性のある「赤土」で敷き詰めます。丸太でドンドンと叩き固めてゆきます。

棚田下手側に水抜き用のパイプを設置。一度積上げた石垣を崩し「赤土」と共に再度積み上げます。



下手の石垣は全て積み直し。斜めのパイプは水抜き用です。

畦には水漏れ防止の波板を設置し棚田の補修は完了。



石積み始めて4年になりました。石積みは3点支持が基本。上側の石は、下側の石の両隣に接点を作り石自身の重みを伝えられるよう積上げてゆきます。写真では、見た目不揃いですが、一番下の石には一番上の石の押さえる力が伝わっています。